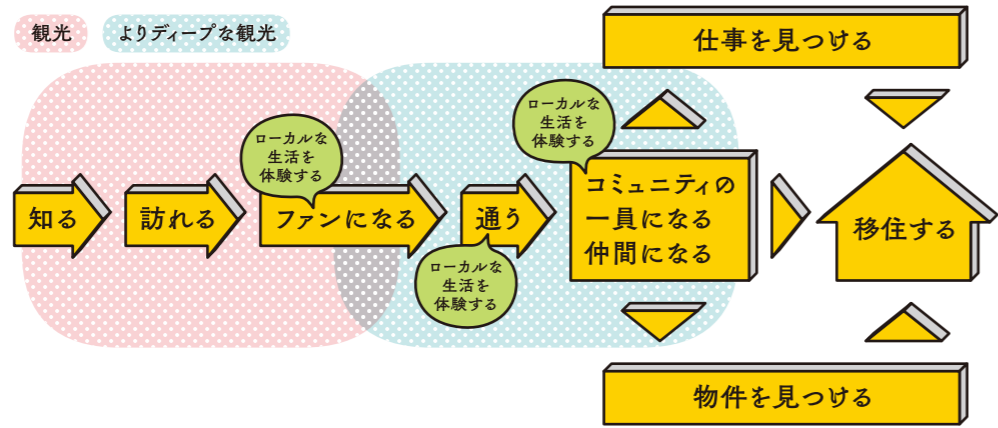


### 観光から移住へ

観光と移住は連携しています。そのステップを図解したものが下記です。従来の観光では、このステップの「知る」から「ファンになる」までをカバーしていましたが、再度訪れ、通うようになる状態にすることが難しかった状況がありました。一方、よりロングでローカルでディープな観光は、その地域ならではのローカル生活を体験し、その土地の人々と出会うことで、再度訪れたいという動機を作り、通ううちに友達が出来たり、その土地のコミュニティにも受け入れられていく可能性が大きくなります。



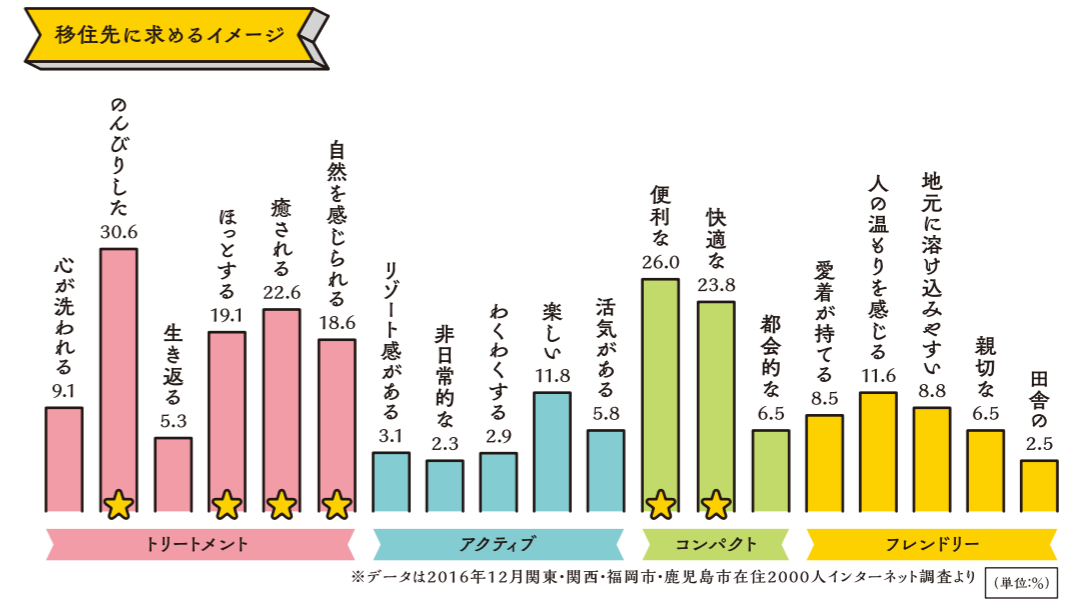
**移住者の声 茂利 友紀さん**

憧れだった空港への就職とともに鹿児島市から霧島市に移住してきました。移住者目線で見ると霧島市は、働く環境があり、豊かな自然や温泉があるなど、とても暮らしやすいまちです。さらには住んでいる人の活気やまちを盛り上げようとする気概に触れ、大いに刺激を受けられるまちでもあります。もっとたくさんの方に霧島市の魅力を知ってもらいたいです。

**移住者の声 富尾 和人さん**

市の補助金制度を利用し、市街地から生まれ育った緑豊かな牧園地区に移り住みました。自治会の方は「子どもの元気な声が聞けてうれしい」と快く迎え入れてくださり、とても感謝しています。自然の中でのびのびと過ごす家族の姿を見ると、幸せな気持ちになります。今後も地域や学校行事などに積極的に参加して、元気な古里づくりに貢献していきたいです。

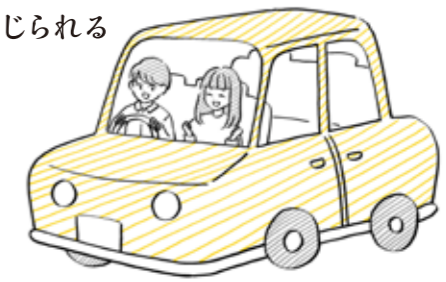
移住先に特に求めるイメージにおいては、観光と共通した「トリートメント」要素に加え、「快適な」、「便利な」という「コンパクト」要素への欲求が強くなります。



- 具体的なまちの機能の上位は以下の内容が並びます。
- 1位 交通の便が良い
  - 2位 治安が良い
  - 3位 食べ物が美味しい
  - 4位 自然(山・海)が豊富
  - 5位 医療・福祉などのサービスが整っている

移住先に求める上位に上がる項目は、まさに、「ローカルな生活を体験する」ことでしか味わえない実感要素であり、訪れた人にロングステイをしてもらう必要があります。

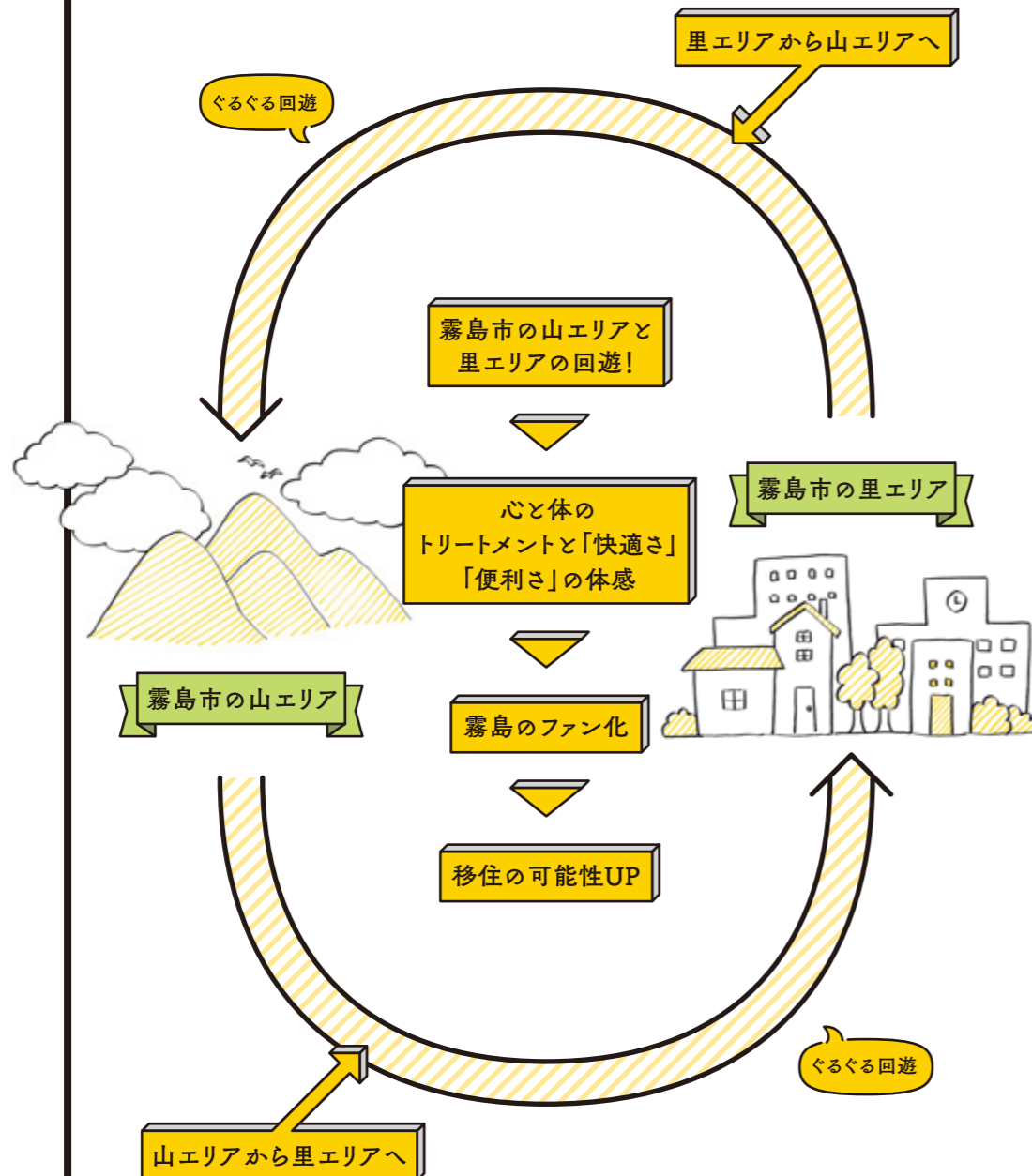
このように観光と移住は密接に関係しており、ローカルな生活体験ができることが重要となってきます。そして、「快適な」「便利な」というコンパクトな要素を体感してもらうためには、観光・宿泊の中心である霧島市の山エリアからコンパクトな要素を特に感じられる霧島市の里エリアへ人を誘導し、里エリアでも、ぶらぶらしたり、ステイさせる流れをつくるのが重要であることが導かれます。



※霧島市の山エリア(霧島市中山間地域)、霧島市の里エリア(霧島市平野部)

### 霧島市移住勝利の方程式はコレだ!

トリートメント要素と「便利」「快適な」コンパクト要素の同時体験提供がポイント。



※霧島市の山エリア(霧島市中山間地域)、霧島市の里エリア(霧島市平野部)

ちなみに!

霧島に暮らしはじめた人が考える

### 霧島市と相性の良い人とは?

2016年度のシティプロモーションプロジェクトでは、他エリアから霧島市に移住してきた市民や観光事業に携わる専門家に霧島市と相性の良い人物像についてヒアリングしてみました。



先輩移住者や観光関係者に聞きました



肉好き、温泉好き、川遊び好き、山遊び好き

楽道家

自然の風景を自分のエネルギーに変えられる人

経済活動より地球と共存する暮らしを優先できる人

都会で疲れた人

普通の人(=極端な人は難しい)

せっかちNG、のんびりOK

自ら動ける人

鹿児島人はじーっと見ているので、受け入れられるのを待つことができる人

モノを持たない豊かさを感じられる人

霧島のきれいで優しい森に包みたい人

霧島を大事にしてくれる人

霧島市と相性の良い移住者像は?

いかがでしょうか?

移住者ならではの気苦労も垣間見えますね。

そしてなにより、ずっと暮らしている私達と、霧島市と相性の良い移住者像の共通点が多いと感じて、凄く嬉しくなりました。今後も、霧島を大事にしてくれる人がどんどん来てくれると良いですね。